



子ども大学かわごえ

CUK だより

第4号 NO.0904

2009年10月23日

第2期の授業が始まる

池上彰氏がトップバッター

いよいよ第2期（2009年度）がスタート、始業式と第1回目の授業が10月10日（土）、東京国際大学第1キャンパス112教室で行われました。



今期の入学者は100人（小学4年生39人、5年生45人、6年生16人）です。この日は新型インフルエンザや行事などで13人が欠席。一方、第1期の卒業生が4人出席しました。ほかに保護者83人、招待者24人、子ども大学会員35人等、総勢233人で、広い階段教室は満員になりました。招待者の中には来春、千葉・幕張に子ども大学第2号を開設する神田外国語大学の先生たちもいました。

まず校歌を練習して初斉唱

始業式に先立ち、12時半から校歌の練習をしました。作詞は会員の小室志をりさん。子ども大学の理念を盛り込んだ格調高い詩です。作曲は日本作曲家協議会副会長（日本童謡協会常任理事）の伊藤幹翁先生。歌いやすく、品のある、しかも力強い、すばらしい曲です。この日はその校歌のおひろめです。伊藤先生が自らタクトを振るい、元NHK「うたのおにいさん」たいらいさおさんが本格的な歌唱指導、ピアノ伴奏長谷川美佐子さんで練習をしました。学生たちはすぐにメロディーになじんで行きました。

川越市長と鶴ヶ島市教育長が来賓挨拶

始業式は午後1時半から始まりました。壇上に角帽・黒いガウン姿の江夏健一理事長と遠藤克弥学長、来賓二人が並びました。

初めに学生たちが起立し、習ったばかりの校歌を元気よく斉唱、盛んな拍手を浴びました。

遠藤学長が挨拶、「日本で初めて発足した子ども大



学が2年目を迎えました。みなさんは子ども大学で一流の先生たちの授業を聞いて、学ぶ楽しさを知り、いろんなことに興味を持ち、将来の夢を創り出すきっかけとしてください」と述べました。

つぎに来賓の挨拶。初めに川合善明・川越市長が「子どもの好奇心を育み、学ぶ楽しさを知るというすばらしい企画の子ども大学が、どんどん伸びることを願っています。みなさんは、いろんなことに好奇心を持って自分で調べ、分かると、すばらしい感動を得られるでしょう。がんばってください」と、学生たちを励ましました。

新井周平・鶴ヶ島教育長は「一流の先生の講義を聞いて、いろんな新しいことを学んでほしいです。大きくなって仕事をするとき、いろんな疑問にぶつかります。そのとき、頭を使って解決していく智慧を子ども大学で身につけてください」と挨拶しました。

最後に酒井一郎事務局長が招待者を紹介してお礼を述べ、始業式は終わりました。

2時から本学客員教授の池上彰氏による授業が始まりました。池上氏はNHK「週刊こどもニュース」のお父さん役で人気のあった人で、いまはフリーのジャーナリストとして、社会のことを分かりやすく説明する本の出版やテレビ出演などで活躍中。今回は一人で2コマの授業を行いました。

1時限目「お金のヒミツ」＝経済学

1時限目の授業は「お金のヒミツ」。池上氏は初めに「みなさんは子ども大学の学生ですから、大学生が勉強することを勉強してもらいます。お金の勉強は、大学では経済学といいます」と前置きして授業に入りました。

まず、財布から千円札を取り出して、「これ、単なる紙切れだけど、どうして買物が出来るのかな」と問いかけます。「価値があるから」「国が決めたから」と学生たちが名答。

「お札でいろんなことが見えてきます」と、肖像の入った各国の紙幣を見せます。日本の夏目漱石、中国の毛沢東。北朝鮮の紙幣には金日成。「これ、だれも使わなくなりました。折りたたんだり、お尻のポケットに入れることが不敬にあたるとして禁止されて扱いにくくなったからです」

つぎは、お金が登場するまでのいきさつ。「初めは物々交換。そのために市が立つようになり、やがてみんなが欲しがる物を共通に使うようになりました」。日本では稲、中国では貝殻。「お金に関する漢字には貝がついています」と白板に「買」「貯」「貧」などを書き並べました。「その後、金、銀、銅という貴重なものが、お金として使われるようになりました」

そのあと銀行の話があり、最後に「みんなが欲しい物、喜んでくれる物を作ると、お金がもらえます。みんなに喜んでもらえる仕事をしてください」と締めくくりました。



2時限目「世界地図はひとつではない」

＝国際関係論

2時限目の授業は「世界地図はひとつではない」。「これは大学では国際関係論という学問です」。池上氏はまず、ボードにイギリスの世界地図を貼り出しました。ヨーロッパが中心になっていて、日本は東のはずれにあることを示し、「日本が極東と言われるのは、ヨーロッパから見てです」。

このあと、フランス、イラン、ヨルダン、台湾などの各国の世界地図を次々に貼り出して、その特徴を説明して行きます。「世界地図に描かれる国は基本的に4色で色分けできます」と言い、中国の地図を示して「日本の北方四島は何色になっているでしょうか。日本の色です。中国は北方四島を日本の領土と見ているのです」。北朝鮮の地図で日本とアメリカが無色になっているのは「国交を結んでおらず、国として認めていないからです」。興味深い話が続きます。



南北が逆になっている（日本もさかさま）オーストラリアの地図に、学生たちから「へー」という声が…。宇宙船から撮影した地球の写真も見せ、「国境線はありませんね。緑と砂漠の色分けだけ。日本は緑いっぱいですね」。

そして最後にオーストラリア、ドイツで使っている学習用デスクマットを取り出し、日本を示すものとして芸者、相撲、忍者、ヒロシマのきのこ雲が描かれていることを取り上げ、「日本はこれだけではありませんね。大事なことは、その国の特徴を思い込みしないこと。その国に行って自分の目で見て自分の頭で判断しよう」と呼びかけて、授業は終わりました。

張りのある、ゆっくりした、わかりやすい話し方は、さすがプロ。学生たちも池上氏の質問に積極的に答え、授業は大いに盛り上りました。

今後の授業計画

1. 10月31日（土）“まなびピア埼玉 2009 生涯学習フェスティバル” 応募事業

「子ども大学かわごえ教育活動発表会」

場所：川越市立中央図書館視聴覚ホール、

時間：午後1時半受付、2時開始4時終了

プログラム：

1) 子ども大学の紹介

酒井事務局長

2) 子ども大学の意義

遠藤学長

3) 子ども学生による研究発表

①望月教授「飛行機」授業懸賞論文優秀賞発表

福留悠太郎

②池上授業「お金のヒミツ」に関する研究発表

関根茉莉香

③池上授業「世界地図はひとつではない」に関する研究発表 野村亮輔

4) 学生&保護者の授業感想（3月&10月10日）紹介

竹沢事務次長

5) 対談－授業に参加して

司会

矢倉理事

参加 子ども学生4名、父兄2名

講師 東京国際大学 角山剛教授

以上の発表会は子ども大学かわごえの活動状況、子どもたちの学習成果、父兄の感想等について全体的に知ることができますので、ふるってご参加ください。子ども学生の4年生にはちょっと難



しいかもしれませんが、5～6年生は理解できると思いますので、親子でご参加をお待ちします。

2. 後期第2回・第3回授業

11月7日(土)

13時30分 受付 会場 女子栄養大学
14時～14時 講師 女子栄養大学 根岸由紀子准教授
1限&2限 テーマ 「おいもの科学ーじゃがいもとさつまいもー」

12月5日(土)

13時30分 受付 会場 東京国際大学 第1キャンパス
14時～16時 授業 客員教授 竹本孝之氏
1限&2限 テーマ 「なぜコミュニケーションは大切か？」

連絡事項

1. 校歌

始業式で全員で元気よく歌った校歌は来賓の方々に大変好評でした。校歌は授業の始まりに歌うオープニング・ソングですので、全員でしっかり歌いましょう。楽譜を忘れないように持ってきてください。

2. 記念写真

池上先生の授業のあと教壇で記念撮影をしました。始業式記念として「子ども大学かわごえ 始業式 2009年10月10日」の文字を入れて、2Lサイズを1枚150円で販売いたします。ご希望の方は、children-university09@cuk.or.jp (09年の学生専用)にご連絡ください!! CUK側のメール受信者がinfoと異なりますので、お間違えないようお願いいたします。

3. ホームルーム

10日のオリエンテーションのなかで酒井事務局長が提案したホームルームの開催について11月7日の授業の合間をみてみなさまのご意見をお聞きしたいと考えます。子ども大学かわごえは学生、保護者、教員、会員が力を合わせて作り上げる共同制作事業です。そしてホームルームは、参画と対話と情報交換の場で、前回授業の感想文のフィードバックや授業や運営に関する意見交換や提案などを行います。時間的には30分間、授業の前に設定します。したがって13時受付け、13時30分ホームルーム、14時授業というスケジュールになります。ご検討をお願いいたします。ただし、11月7日(土)の授業は上記のとおり13時30分に始まり、ホームルームはありません。

4. 書籍『こうして創った子ども大学』の発行

約150頁 定価(税込)1500円 11月発刊予定

子ども大学かわごえの理念や活動の理解と当会への資金的支援のためできるだけご購入をお願いいたします。12月の授業の際に販売を行います。

子ども大学かわごえ

学長 遠藤 克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ
〒350-1109 川崎市霞ヶ関北 3-12-6
霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>
TEL 080-2053-2991 (事務局直通)
FAX 049-233-1640F
E_MAIL info@cuk.or.jp